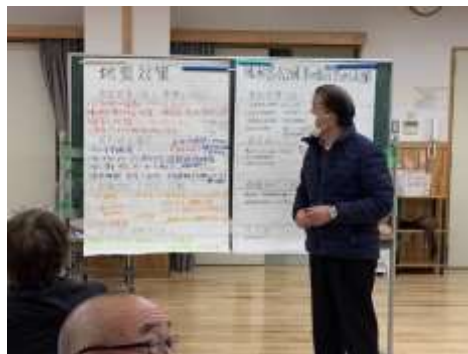


新村地区	令和3年度	推進交付金：550,000円
取組み1 松本大学との地域連携 新村地区 あたらしいの郷協議会 地域振興部会		推進交付金の活用 有
<p>(1) 目的 松本大学との地域連携・交流</p> <p>(2) 取組み 松本大学の「地域づくり考房ゆめ」との連携・交流をとおして大学と地域が共存するまちづくりを進めています。</p> <p>(3) 今後の展開 松本大学との地域連携・交流を継続展開していく。</p>	 <p>地区住民と松本大学生によるバスハイク</p>	
取組み2 保育園防災訓練の実施 新村地区 あたらしいの郷協議会 安全安心部会		推進交付金の活用 無
<p>(1) 目的 安全安心なまちづくりの推進</p> <p>(2) 取組み 松本大学と協働し保育園避難訓練を実施しました。大学生の誘導による松本大学グラウンドまでの避難訓練と、防災講座を実施しました。 防災士資格の取得を目指し防災活動論の講義を履修している大学生25人が、保育士の指示のもとそれぞれ2人程度の園児と手をつなぎ支援することで、スムーズに避難・誘導することができました。</p> <p>(3) 今後の展開 避難経路の見直し検討</p>		
取組み3 新村地区防災計画の策定 新村地区 あたらしいの郷協議会 安全安心部会		推進交付金の活用 有
<p>(1) 目的</p>		

安全安心なまちづくりの推進

(2)取組み

令和3年の秋から17回の策定委員会を開催し、新村地区防災計画を策定しました。令和5年3月松本市防災会議を経て市内35地区初の地区計画となりました。



参考:松本市地域防災計画令和4年度修正概要

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/uploaded/attachment/73177.pdf>

(3)今後の展開

新村地区防災計画の周知及び防災訓練等の実施

取組み4 メンズサロン「パティオ・にいむら」

新村地区 あたらしいの郷協議会 いきいき部会

推進交付金の活用

有

(1) 目的

男性の居場所づくり、仲間づくり、孤独感の解消

(2) 取組み

外に出ることの少ない男性の居場所づくりに、お酒ではなく珈琲を飲みながら語る場としてメンズサロン「パティオ・にいむら」を開催している。



(3) 今後の展開

男性の居場所づくり事業では、来てもらう方を待つだけでなく、コロナ禍でも可能な限り各町会に出向き閉じこもりがちの方の外出の機会を増やしていきたい。

取組み5 高齢者の生活課題について

「地域ケア会議」開催

新村地区 あたらしいの郷協議会 いきいき部会

推進交付金の活用

無

(1) 目的 超高齢社会への対応

(2) 取組み

高齢者の生活課題について、7月に「新村地区困りごとアンケート」を実施し、その結果をもとにあたらしの郷協議会いきいき部会と地区に
関係する職員が企画し「有償ボランティアの必要性」と「買い物弱者の支援」をテーマにグループワークを開催。



(3) 今後の展開 有償ボランティアの立ち上げや、移動販売の導入を検討。

取組み6 「たのしく俳句講座」開催

推進交付金の活用

新村地区 あたらしの郷協議会 いきいき部会

有

(1) 目的 高齢者の生きがいづくり

(2) 取組み

最近の俳句ブームもあり、私もやってみたいという声をきっかけに、主に初心者を対象に10回のシリーズで開催

(3) 今後の展開

講座参加者の希望によりサークル化を決定



取組み7 「新村について考える講座」開催

推進交付金の活用

新村地区 あたらしの郷協議会 学びの友部会

有

(1) 目的

文化財等の歴史に親しみながら、伝統と文化を学び世代間交流の場をつくる

(2) 取組み

令和3年度に作成された地域学習テキスト「あたらしの郷」を活用し、各項目の執筆者が講師となり、それぞれ話題を掘り下げ、意見交換を行った。

(3) 今後の展開

地域学習テキスト「あたらしの郷」を活用し文化財の維持・活用の担い手づくりに繋げていく。



推進交付金の活用

取組8 寺子屋の開催

無

新村地区 あたらしの郷協議会 学びの友部会

(1) 目的

学びの場の提供と世代間交流

(2) 取組み

小学生の夏休み期間中に、夏休みの宿題や体験学習で時間を過ごす。

体験学習では、ちびゆり先生のダンス教室、松本大学の学生とスライムづくりをするなど、学年や世代を超えた交流と充実した学びの機会となりました。



(3) 今後の展開

講師である地域住民や松本大学とも連携を図りながら、地域が子どもを育てる有意義な事業展開を図る。

取組み9 地域の情報発信事業

推進交付金の活用

新村地区 あたらしの郷協議会 広報委員会

有

(1) 目的

協議会の取り組みや地域の情報を、幅広く発信

(2) 取組み

毎月広報誌(あたらしの郷通信)を発行し、協議会の事業をタイムリーに周知した。

(3) 今後の展開

毎月の広報誌(あたらしの郷通信)による情報の提供

